（別紙様式例3）

# 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年9月1日

事業所名：児童発達支援・放課後等デイサービスOlive～オリーブ～

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

| 区分 | | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | ○ | | | | 22 | | | | | |
| | 2 | 職員の適切な配置 | ○ | | | | 18 | 4 | | | もう少し人数がいたらありがたい。 | 採用条件を見直し、今よりももっと力を入れてみる。 |
| | 3 | 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備 | ○ | | | | 22 | | | | スロープはあるが、手すりはない。 | 手すりが必要な利用児にはマンツーマンで常に付き添っている。 |
| | 4 | 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | ○ | | | | 22 | | | | | |
| 業務改善 | 1 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画 | ○ | | | | | | | | | |
| | 2 | 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | ○ | | | | | | | | | |
| | 3 | 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | ○ | | | | | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 1 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | ○ | | | | 19 | 3 | | | 親の思いとは違うところもある。 | すり合わせと、各児童に対しての細やかな説明と寄り添いを強化する。 |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | ○ | | | | 18 | 4 | | | 目標をもっと具体的にしてほしい。 | もっとわかりやすくお伝えするようにする。 |
| | 3 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | ○ | | | | | | | | | |

| 区分 | | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | |
| 適切な支援の提供（続き） | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | ○ | | | | 20 | 2 | | | もっとSSTをしてもらいたい。 | 今よりもSSTの機会を増やすよう、検討する。 |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | ○ | | | | | | | | | |
| | 6 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | ○ | | | | 17 | 3 | 2 | | 利用時間が短いと固定化されるときもある。 | 仕方のない場合もあるが、検討はしてみる。 |
| | 7 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | ○ | | | | | | | | | |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | ○ | | | | | | | | | |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | | ○ | | 難しい時は翌日の朝行っている。 | | | | | | |
| | 10 | 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | ○ | | | | | | | | | |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | | ○ | | コロナ時は難しく電話での聞き取りモニタリングが多かった。 | | | | | | 今後も感染予防を1番に考え対応していく。 |
| 関係機関 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | | ○ | | 管理者・児発管が出席しているが、難しい場合は児童指導員の中で最もふさわしいものが参加している。 | | | | | | |

| 区分 | | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | |
| との連携 | 2 | **（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）**地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | | | | | | | | |
| 関係機関との連携（続き） | 3 | **（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）**子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | | | | | | | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有 | ○ | | | | | | | | | |
| | 5 | 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供 | ○ | | | | | | | | | |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | ○ | | | | | | | | | |
| | 7 | 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供 | | ○ | | コロナ渦で室内は難しいが公園等で一緒に活動している。 | 12 | 8 | 2 | | コロナで外出があまり出来ていない。 | 今後も感染予防を1番に考え対応していく。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | | | ○ | | | | | | | |
| 保護者への説明責任・ | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | ○ | | | | 22 | | | | | |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | ○ | | | | 22 | | | | | |

| 区分 | | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | |
| 連携支援 | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施 | ○ | | | | 18 | 4 | | | もっと話す機会が欲しい。 | 出来る限り機会を設ける。 |
| 保護者への説明責任・連携支援（続き） | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | ○ | | | | 18 | 4 | | | 利用日数が少ない為共通理解とまではいかない所もある。 | 日数の少ない中でも共通理解を深められるよう、努力する。 |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | ○ | | | | 17 | 5 | | | ゆっくりと話せる機会が少ない。 | 出来る限り機会を設ける。 |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | | ○ | | 開所後数カ月でコロナ渦になったため保護者様参加での会(イベント・勉強会)は一度しか行っていない。 | 15 | 7 | | | コロナで仕方ないが<br>みんなで集まるイベントが少ない。 | 今後も感染予防を<br>1番に考え対応していく。 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | | ○ | | 現在苦情はない。 | 10 | 12 | | | 今のところ苦情はない。 | |
| | 8 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | ○ | | | ペクスや視覚支援を行っている。 | 15 | 7 | | | | |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | | ○ | | 会報等は出していないが、予約表にて行事を知らせたり、写真を渡したりしている。ホームページが完成したら保護者様専用ページができる為<br>日々の活動を知らせる予定。 | 12 | 8 | 2 | | 会報がない。ホームページも作成中とのことなので、完成が楽しみ。<br>セキュリティーに強いとのことで安心。 | ホームページ開設待ち。 |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | ○ | | | | 22 | | | | | |
| 非常時等 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | ○ | | | | 20 | 2 | | | 契約時に避難場所を教えてくれた。 | |

| 区分 | | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | |
| 等の対応 | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | ○ | | | コロナ渦で保護者様への引き渡し訓練は行えていない。 | 17 | 5 | | | コロナで引き渡し訓練ができていない。早くできるといい。 | 今後も感染予防を1番に考え対応していく。 |
| 非常時等の対応（続き） | 3 | 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 | ○ | | | 児童相談所とも連携をとっている。 | | | | | | |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | ○ | | | | | | | | | |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | ○ | | | | | | | | | |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ○ | | | | | | | | | |